

# ICT活用事例など9件

佐藤渡辺、業務の改善点共有へ発表会

佐藤渡辺は、「第36回業務改善発表会」を東京都港区の本社で11月22日開いた。写真（佐藤渡辺提供）。

労働時間の短縮に効果を挙げた環境の改善事例や、DX・ICTを活用した生産性向上の事例を社員が発表。発注者から高く評価された工事事例を含む計9件を報告し、業務の改善点や工夫点を社内ですら共有した。鎌田修治社長は講評で、



国土交通省関東地方整備局の2023年度ICT施工工事の実施率が83・5%となったデータを紹介。受注工事でさらなるICT導入を進める重要性を強調した

上で「いろいろなことへのチャレンジが業務改善につながる。本日の発表を水平展開のきっかけにしてほしい」と呼び掛けた。

社長賞と優良賞を受賞した取り組みは次の通り。

【社長賞】関東支店⇨勤退及び休日取得状況の見える化

【優良賞】東北支店⇨カエレルとFileforce

eを活用して家に「帰れる?」▽関東支店⇨現場におけるBIM/CIMの活用について▽中日本支店⇨プールバール広場の景観舗装（アラレクリート）（石畳調）受注成功事例）。

